

第2回人生支援計画 策定委員会 議事録

■日 時：平成30年1月17日 13:30～16:00

■場 所：ふれあいセンター 2階

■出席者：【議長】9名(欠席3名)

【行政委員】島村委員(市健康対策課)、関川委員(市福祉事務所)、田中委員(市生涯学習課)、
宮崎委員(市高齢者介護課)、山下委員(市こども課)、岡林委員(市地域支援課)
入野委員(市学校教育課) 7人

【傍 聴】1名

【事務局】地域支援課 近藤・本田

1. 開会

2. 議題

I. 第1回検討委員会の議事録からの振り返り

◆後日回答について事務局より説明【資料1】

II. 29年度の進捗状況と評価

◆別紙資料【別冊2】平成29年度人生支援計画評価シート【資料2】

重点施策の進捗状況について事務局より説明(別冊2とその他資料で説明)

【質 疑】

○委員

96番のファミリーサポートセンター事業についてですが、保育園に迎えに行き家で見るケースもあると思いますが、車で迎えに行き車で積んで帰る場合もありますか？

●山下委員(市こども課)

それは保険がかかっているという事で、車で迎えにいらしています。特にその部分で問題としてあがってきたことはない。

○委員

そうですか。

○坂本委員長

おそらく、全てにおいて保険の対象にはなっていると思いますが、問題はやっぱり何か問題があったときに、本当にそれが重要な大きな事故だった場合裁判になってしまうケースが全国的に多いので、それを想定した上での対応と保険のかけ方やお互いの交わす誓約書みたいなものがきちんとしていればいいのではないのでしょうか。

●山下委員(市こども課)

そうですね。そういう保険や補償の事というのはきちんと説明して、それぞれ利用の前に面接等をして預かる「任せて会員」さんのお宅とかを確認して、お互いが納得したうえで利用すると

いう制度をとっています。

○委員

聞きたかったのは、事故があったときの保障とかではなくて、預かる料金をとっているが、迎えに行く費用などは関係ないとは思いますが、迎えに行くと預かっているのだから車両運送法とかそっちの方に引っかかる可能性があるのではないかと思う。

○坂本委員長

送迎という事で、みどりナンバーとかそういう事ですよ。

○委員

シルバーの業務の中でそんなのが凄く問題になっているが、この事業は全国的にやっている事だから、まあ大丈夫だとは思いますが。

●山下委員(市こども課)

そういうところは想定問答にもなかったのでお確認をして、有償ボランティアでお金ももらっているのをお確認して後日解答という事でお願いしたいです。

○坂本委員長

ありがとうございます。では、送迎についてまた後日解答という事で宜しくお願いいたします。他に何か気になることがある方はいますか？

●山下委員(市こども課)

先ほどの送迎サービスの件ですが、事務局に最新の情報を調べていただきまして、子育て支援のための相互援助という制度でありまして、保育施設等への送迎については道路運送車両法に該当する、規制の対象となる「運送の対価をもってする固有の対価を求める運送」には当たらないということで、規制の対象には当たらないということでした。

○委員

86番の三世代交流イベント推進事業(たこ揚げ大会)について、子どもを含め1000人以上来ていて大盛況だったと思います。

○坂本委員長

それは平成30年1月14日のことですね。ありがとうございました。事務局の方から補足等はありませんか？

●田中委員(市生涯学習課)

この事業のことですが、地引網の後継者がいないことから今年はできなくなったため、去年は栗拾いを山南の公民館で実施しました。入っている150人という数字は栗拾いに参加した人数です。話があったように、たこ揚げは1,000人だったので合わせて1,150の数字が入ります。

○坂本委員長

では、これは、たこ揚げの人数が入っていない数字という事ですね。

○委員

私は社協なんですけど、ファミリーサポートセンターの事業を県要綱で実施してやっているが、

非常に預かりたいという方が募集をしても0。県の研修がなかなか厳しく、安全面だったり子ども遊び・食生活等の多種にわたっての研修が県の要綱で24時間必須で、受けないとお願い会員の依頼が引き受けられないことになっている。香南市の場合はそれが非常に厳しいという事で18時間に短縮して行っている。それでもなかなか集まらないという事で、当たり前のことかもしれないが、研修を2日ボランティアで受けなければならないという事でしんどい部分があると思うので、県と協議して依頼を引き受ける方のことも配慮していただきたいなと思います。お願い会員と任せて会員さんを集めて、今年は水族館へ一緒に行って交流を深めて利用のしやすい環境を作っているが、それでも利用が伸びない状況です。せつかくやっている事業なので、もっと参加のしやすい状況を作ってあげるのが大切でないかと思うのでその点も協議していただけたらと思う。私は、事業実施主体ということではなかなか聞けない部分もありますが、利用をする際は緊急時のことを考えて申し込みをしています。先ほどもおっしゃっていたように、保育事業も充実してきたのであまり必要性を考えてないようで、本当に困ったときをお願いしようかと考えている方も多いようですので、そのあたりも利用が伸びない背景にあるのではないかと思いますので何か制度に工夫が必要でないかと感じています。

○坂本委員長

これは保育士免許が必要ではないのですよね？お持ちの方は研修が少なくなるという仕組みはありますか。

●山下委員(市こども課)

あります。専門分野のカリキュラムは省略できるということになっている。資格を持っていない方は2日間全部という事になっている。できるだけ簡略できるようなカリキュラム構成にはなっていて、今のものは最低限必要な講習と考えていまして、できるだけ負担のかからないように配慮したいところです。一応今取り組んでいるのが、2日間で取れなかった場合は、次の講習と合わせてカリキュラムを消化していけば、全部の講習が終わったら任せて会員の登録ができるようにしています。また今検討しているのが、高知市や南国市と連携をとってそれぞれの市をまたいで講習を受けられないかと検討しているが、今の段階では決められている最低限の講習となっています。また、お願い会員さんが安心して預けられるというのは、こういった一定の講習を受けてますという事も必要になってくると思いますので、使いやすい制度になればというのは色々と県や他の自治体を参考にやっていきたいと思っていますので宜しく願いいたします。

Ⅲ. 人口減少問題を考える会の検討課題の取り組み状況

◆人口減少問題を考える会での提案施策の状況について事務局より説明【資料5】

Ⅳ. H30年度に向けた部会の立ち上げについて事務局より説明【資料6 6-1】

3. その他

次年度のスケジュールについて事務局より説明【資料7】

○委員

全然関係ないことかもしれませんが、ちょっと考慮してほしいとこで、2月7日に香我美小学校と香我美幼稚園に避難訓練がありますが、その日に1歳7ヶ月検診があり、同じ日にされると迎えにいけないし、そういう検診と学校のイベントを極力別の日にしてほしい。今3人子どもがいるが、一番下が1歳7ヶ月、二番目が香我美幼稚園、一番上が小学校2年生なので、できれば行事等は別々にしてほしいです。

○坂本委員長

どういう事をやっているのかが1つのカレンダーでまとめれば分かるかもしれませんが、こちらの方で検討してもらって、保護者は大変ですね。このへんが重なってしまうと難しいかと思えます。ぜひ検討をお願いします。はい、山下校長先生どうぞ。

○委員

城山高校は香南市にある学校という事、地域の学校という気持ちでいるのですが、なかなか地域の方から子どもが集まってこないという実態もあるという事で、こういう会の中で就学前から話をして、香南市の人達に色々なことを聞いていただけるという事は凄くありがたいという事でこの会には是非とも参加させていただきたいと思えます。そういう中で例えばそれが委員として何かの発言で政策にいかされるというところも含めて部会を作っていただきたいという1つ要望です。それと合わせてせっかく皆さん集まっているので、学校教育課は知っているが、来年度から高等学校で通級指導、いわゆる特別支援に必要な子ども達、私がずっと思っていたことで小・中、義務に関しては特別支援学級という形で自閉症・情緒学級という子どもたちの学級がありますが、その子ども達が高校になると支援が受けなくなるという事で、その子どもたちが継続した支援を続けていける制度を作ろうという事で、国が平成30年度から高校でもできるようにという事で、それを聞いたのが5月くらいで6月～8月県教員と話しながら城山高校がそれをやっていこうという事で、来年度から取り組んでいきます。来年度は1年生に対して認知機能の強化をして、2年生3年生には先ほど出てきたインターンシップの関係で、インターンシップというよりは私のイメージはDRシステムという長期研修を含めてという形で香南市の方をお願いをして発達に障害のある子ども達への受け入れということで、みなさんにご協力をいただくという事が出てくるかもしれませんので、この場で周知とお願いでございます。

○委員

城山高等学校があるので、いい進学者が多い学校にしてほしい。何か特化したものを実施しなければ志願者は増えないと思う。いい指導者を引っ張ってきて特色ある学校作りをしてほしい。香南市は立地がいいのでぜひ、名門にしてほしい。

【委員の皆様から】

○委員

私は、この三世代交流のなかで地引き綱が出来なくなっていて、香南市の中で有名産業なので個人にだけ期待せず行政としても、海辺の観光産業という事をしっかり香南市として取り組んで

いってほしいなって感じます。

○坂本委員長

県外では、商工会議所さんがよその地域まで出かけて行って、イベントの時などに商工会議所がその市をアピールしたりとかいろいろな取り組みをされていると思います。高知県内でいえば例えばこちらの商工会議所さんがイオンに行ってイベントを開いたり、あるいは県外に行ったり、様々な取り組みをされているかと思いますが、またそのような事をこちらの方でも検討してみても盛り上げていただけたらと思います。

○委員

大丈夫です。

○委員

1年間初めてこの会議に出席させていただきました。野市に住んで40年くらい経ちますが、日々こういった会を中心にまちを良くしていこうと頑張っている方がこんなに沢山いらっしゃることを目の当たりにしてきました。私は仕事を精一杯頑張ってやって、その背中を子供に見せる事が親の務めなんだとこの1年間で確信したので、いい経験をさせていただきました。ありがとうございます。

○坂本委員長

はい。ではまた、子育てされている方の目線からのご意見もお願いします。

○委員

今年知り合いの不動産屋さんの方と野市町の東佐古・西佐古・深淵とか西野とかをずっと回ってましたら、かなり沢山の空き家があって、それも年老いて動けなくなったから老人病院へ行っているとか、独り者の方が元気でやってたけど維持が出来なくなったとかがあって、それをなんとか出来ないかなとか、それも綺麗なまま残ってたりとか、そういうのが沢山あって本当にビックリしてこの会の意味がよく分かったような気がしました。それとあと、私は香南市手をつなぐ育成会で知的障害の親の会の会員ですが、会員が年々減ってきています。なんとか月一回、親が年を取ってなかなか集まらないですが15名くらい集まって、親のことや子どもの心配をしています。今度産まれてくる子どもの情報が無く、そういうので衰退してきているのだと思います。平成32年に新庁舎ができますよね、そこで何とか知的障がい者の枠みたいなものは出来ませんか？

○坂本委員長

企業に対しては国が1.何パーセントか引き上げましたね、なので少し雇用は広がっているかと思いますが。

○委員

市役所では今は0ですよ。身体障害者や知的障害者、心身障害者の雇用は0ですよ。

●島村健康対策課長

身体障害者の採用枠はあります。

○委員

あ、けど今はないですね。

●島村健康対策課長

今年も募集しております。

○委員

そうですか。最近見かけなくなったなと思ひまして。スーパーとかに養護学校から行ったり、今はもう普通に健常者の方と変わらない仕事をしてますしせつかくの新庁舎も建つことだし、やっぱり知的障害もめんどくさいかもしれませんが覚えたら休み無く1つの事をかちかちできるんです、だからピュアな思いを持っているので、覚えるのに少し時間はかかりますが1つの事をカチッと出来る能力を持っているので、それは私達の願ひだし、あと養護学校のスクールバスが来ますよね。野市駅の南側のガストの駐車場の方で、私も何度か行ったことありますが、野市が1番多くて18名くらいでした。私も野市に障がい者がこんなにいることを全然知らなかった。

○坂本委員長

貴重な情報を有難うございます。また、そういう情報をどどん会の中でもお話していただけたらと思います。

○委員

城山高校はそれこそ先ほど地域の学校ということで吉川海岸の清掃なども行ってるんですけど、それだけじゃなくて、なんとか香南市を盛り上げようという事で昨年度と今年、県の地域活性化プロジェクトという県が行っている事業に応募して去年はニラを活用してなんとかできないか、今年は夜須町のトマト、赤岡町のしらす、野市町のニラ、吉川町のうなぎ、香我美町のみかんという5つのものを使って島田シェフのところを持って行って何とか商品化できないかという話を学校独自で進めているんですけど、何かそういう事を市としてもタイアップして表に出してくれたら、もっと前を向いて進み出すのかなと思います。近くでいうと、それこそ夜須の海辺の果樹園に浜幸の工場があったり、赤岡だと西川屋さんとか、そんなところも含めて何か学校で出来ることも考えてどどん進めていこうとしていますので、またこういう機会に知っていただいて広めていけたらと思います。また、今年県展のグラフィックにも2名入賞したんですけども、それも野市町を宣伝しようという事と弁天座と月見山とニラという事をテーマに出して2つ入選しているのでそういうところも知っていただけたらなと思います。以上です。

○坂本委員長

なかなかいい情報だったと思います。こういうのを広報などの情報発信もありますしまた、高知県内だけではなく全国的に高校が色んな取り組みをされていて、特に高知県内であれば嶺北高校のお味噌がファイティングドックスのパッケージになって売られていたりとか、山田高校は高校生が30社くらいの企業のコマーシャルを作るというのだったり、色々な取り組みをされ

ていて、それは市町村が一緒になってやっているなのでそのあたり是非、城山高校と一緒にってなにかプロジェクトを組んで動き始めたらいいのではないかと思います。

●地域支援課 近藤

丁度、城山高校の担任の先生からご相談を受けまして、その5つの町の特色を活かした確かおせんべいだったと思いますが、それについてご相談があって、なんとかこれを広めていきたいという話であったので、ちょうど11月23日にふれあい祭りがありましたので、学生にイベント会場で試食をしながらの街頭アンケート調査ができるように繋ぎはいたしました。そして、その後農林課の方でみかんやニラを使った6次産業の部会などもありますので、その担当者にも繋いでいて、その中でみかんの商品開発については野市のコンサルトさんが講師になって色々アドバイスを頂いています。そういうところとも繋げていけたら、もっと中身が洗練されたものが出来るという話はさせていただきました。

○坂本委員長

可能であれば、のいち動物園なんかもPRする場所に非常にいい場所になるのかと思います。高知県内外から沢山人が来ているのでそういうところでも城山高校を知っていただくという方法もありかと思います。

○委員

それと先ほど聞けばよかったですけど、100番のものは対象年収340万という説明がありましたが、これは年収340万で大丈夫ですか。

●地域支援課 近藤

これは年収ではなく所得で夫婦合算所得340万円未満になります。人にもよりますが、旦那さんだけ働いていたり、奥さんが寿退社したとか、ケースはいろいろありますが、寿退社したとすると奥さんの分の所得は足さずに旦那さん1人の所得だけで良いなどの対象要件になっています。

●地域支援課 岩田

この結婚新生活応援事業の目的は、結婚に踏み切れない理由が年収が少ないであったりとかそういうところがアンケート調査でわかったので、そこに支援をしましょうという国の政策で始まっていますので、年収が低い方向への支援策になってます。

○委員

そしたら、この340万というのは、もっと下げるべきでは。

●地域支援課 岩田

資料でも示していましたが、去年目標設定の10名を割り出すのにあたって香南市の20代から調べたら結構な世帯数があったが、その中でも職業や色んなところを香南市が目標としている婚姻数の率を掛けたりして目標数を算出しておまして、小松さんがおっしゃるとおり収入にするすと結構高いです。

○委員

ちょっと高いなと思ひまして、例えば資料をみると結婚資金が不足しているという心配があるというのが男性で43パーセントとでているので、そういう風にしたら設定が高いなとか多いなと思ったので、先ほど年収と聞いて、ええ、と思ったので、こちらが所得と間違っていたという事で確認のために質問させていただきました。

●地域支援課 近藤

だいたい所得が340万で、奥さんに収入がない場合の旦那さんの給与等の収入金額は492万なので、そこよりも下という人が該当します。奥さんにも収入があるケースであれば例えば旦那さんが311万、奥さんが225万という収入の場合、200万と140万の所得になるので合計340万になります。対象者としては低所得の世帯という形にはなりません。

○坂本委員長

空き屋の話もありましたが県外では、空き屋や自分の家の空いている部屋をB&Bというかたちで民泊にだされる方が多いです。B&Bというのは、**Bed and Breakfast** と言いますが、空いている自分の部屋や家をそのままB&Bに出して、1泊が3,000円～5,000円くらいの安い金額で泊まりに来てもらうというやり方で、海外の方はB&Bに慣れているので利用しているのはやっぱり外国の方が多いですね。海外では道を走っていてもB&Bっていう看板があちこちに出てくる状況で、日本ではちょっと違うのですがそういう状況の中で少しずつ日本もB&Bが普及してきていて、宿が足りないというのがありますが、これからB&Bも規制の対象となってくるかと思いますが、まだ規制の対象にはなっていないのですが、そういう形で空き屋をそのままB&Bにしていくというやり方もあります。高知にはそれほどB&Bはありませんが、そういうのも1つあるのではないかと思います。これは神戸の方でも、高齢者が1人で住んでいてその方が施設に入ってそのまま亡くなって、家が売りに出されるという本当に近い近畿地方のほうでもそういう現状が出ているということでしたので、高知はもっと早いスピードで進んでいるのではと思います。

4. 閉会